

自然で健康な暮らしを！ Leben aus der Natur

品質と信頼の レホルム製品

Als alternative Medizin garantieren die Reformprodukte Qualität und Sicherheit.

目次

- ①健康づくりの総合的なプログラム
- ②レホルム製品の品質基準
- ③ノイホルムのマーク
- ④品質を考えた4つのプログラム
 - ④-1 原料について
 - ④-2 加工法について
 - ④-3 製品の安全性
 - ④-4 ノイホルム協会の義務
- ⑤品目ごとの品質規準
- ⑥健康と嗜好食品
- ⑦ダイエット食品と栄養補助食品
- ⑧自然薬品と体に優しい家庭薬
- ⑨植物由来の自然派化粧品
- ⑩「レホルムハウス」が正しい理由



『レホルム製品』の特徴を簡単にまとめると

- 品質と安全性が科学的に証明されている
- 有用性や機能が学術的に裏づけられている
- 多くの自然由来の製品や種類が揃っている
- 専門的知識によるアドバイスが受けられる

①健康づくりの総合的な「プログラム」

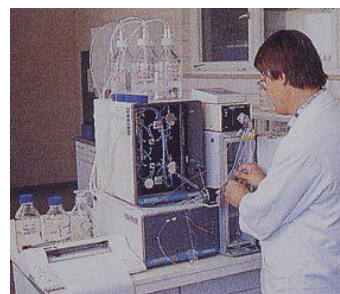
「レホルム運動」は、約120年以前から新世代が求める「自然回帰」の理念に沿って、自然の環境保持に努めを、健康づくりの基本である生活習慣改善に努める運動です。「レホルムハウス」は、このような要求に応えるために「レホルム製品」の普及に大きな役割を果たしてきました。「レホルム製品」の高品質は、安全性と有用性が、ドイツ食品医薬品法、並びに医薬品医療機器庁 E 委員

会の厳格な規格基準にもとづき、客観的に実施される「分析試験」や「臨床試験」で学術的に証明されています。今日、ドイツでは約 6000 種類の「レホルム製品」が、「レホルムハウス」を通じて、消費者に普及されています。それ等は次に挙げる 5 項目が対象です。

- 栄養食品 ➡ 品質と安全性、風味や嗜好を考慮した食品。
- 栄養補助食品 ➡ 栄養摂取量をバランス良く、適正に摂取できる健康補助食品。
ドイツの食品医薬品法及び(ヨーロッパ)食品安全機構(EFSA)と整合性があること
- ダイエット食品 ➡ 肥満、糖尿病、循環器障害、胃腸疾患などの生活習慣病や、その合併症の予防に、医療補助を目的とした食養生食品。(ドイツの「ダイエット法」の基準にもとづく)
- 自然派化粧品とボディケア製品 ➡ 薬用植物成分を主原料にしたスキンケア製品で、化学合成添加物を可能な限り使用しないで製造された化粧品。
- 自然薬品 ➡ 自己治癒力を高め、健康保持に役立つ植物製剤。ドイツの医薬品・医療機器庁E委員会の規格基準を満たし、含有成分や有効性が科学的に確認された「代替医療」に役立つ製品。「臨床試験」が義務付けられている「自然薬品」105、「伝統的薬品」109a。

②「レホルム製品」の品質規準

「レホルム製品」の品質は、「味覚、鮮度、安全性、有用性」など、部分的な品質に止まらず、「ノイホルム基準」という伝統的な評価をもとに、改良を重ねてきました。また、品質や製品化に最も重要なのは、原料の新鮮度、残留農薬・重金属が 0 か、基準以下であることです。それはドイツ政府が定めた基準以下で、また、有用成分の健康保持面での有効性などは総て公的試験所の「臨床試験」により、学術的に認められ製品に限定されています。とくに原料には有機農法による新鮮な農作物を厳選しています。—



(分析試験室)

③「ノイホルム」のマーク



「ノイホルム協会」は、永い歴史と経験を経て、より優れた製品を消費者に提供するため厳しい規準を設けています。「安全性」や「分析試験」は、ドイツ医薬品・医療機器庁 E 委員会の規格基準により、政府公認の「分析試験所」、「科学研究所」によりで厳正な試験が実施され、基準に沿わない製品は「レホルム製品」としての販売は承認されません。また、「品質基準」は、個々の製品グループごとに詳細に定められており、最先端の「試験法」や、「検査法」が定められています。「レホルム協会」の基本的な理念と規格基準に沿った製品は、「ノイホルム協会」に登録され、「ノイホルム」のマークを表示して「レホルムハウス」で消費者に販売されます。詳細は、以下のプログラムをご覧ください。

④品質を考えた(4つのプログラム)

「レホルム製品」の原則



④-1 原料について

(ビオマーク)

製品の良し悪しは、原料の選択で決まります。化学調味料などで、味覚を化学的に調整することは許されないため、原料の選択は完成品の品質を大きく左右します。「ノイホルム製品」には、次のような規準があります。

有機栽培を最優先させています。

必要な品質保持のため、農作物や薬草は原則として有機栽培により生産され、「EU有機農業規準」を満たした作物でなければなりません。現在、約 2000 種類の「レホルム製品」の原料が有機農法により栽培されています。有機栽培によるレホルム製品には「Bio有機栽培の葉」のマークが表示されており、ISO14001(国際環境規格)及びEWG(欧州経済機構)環境基準の登録番号リストでも検索できます。



自然農園

遺伝子組み換えの原料を使用しない。

遺伝子組替え原料を使用した加工食品が、人間や飼育動物、そして生態系にどのような危険性を及ぼすかは、予測することは困難です。そのため「ノイホルム」の契約製造者は将来的にも、遺伝子組替え原料を使用しないことが義務づけられています。こうした要求は、全世界の原料市場が密接に関わる中で、真剣に取り組まなければならない重要な課題です。遺伝子組替え原料を 100% 使用しないという原則は、今後も「レホルムハウス」、「レホルム製品製造者協会」の基本理念です。

④-2 加工法について

『私たちの食べ物を可能な限り自然なものにしよう!』「レホルム運動」の基本理念を示したこの言葉は、医学博士ヴェルナー・コラート教授が唱えました。彼は自身の研究の成果として、現代人の食生活と栄養のバランスの重要性を説きました。コラート教授は、過度に加工された食品は、人々の健康を損なう恐れがあることを一連の研究で明らかにしました。これは、「レホルム運動」の経験的な知識の芽生えとして広がりました。「ノイホルム」の加工法には、次のような基本原則があげられています。

成分をできるだけ破壊させないような加工法。

原料の加工は、とくに重要な工程として欠かせない作業です。また、原料の鮮度の低下、有

用成分や品質の劣化を招かないような「気配り」が必要です。それは、製品によって異なります。例えば「蜂蜜」は、熱による品質の酸化をさけるため、「冷却遠心分離機」にかけ、容器に充填する際は、蜂の巣箱の温度を超えないように配慮します。ハーブと果菜のジュースは、100%天然の圧搾ジュースを用います。

食品の場合、原則として合成添加物を使用しない。

一般的に添加物は食品の加工の際、外観、風味の改良、食品の保存や、製造上の目的で使用されます。化学合成添加物を使えば、食品の加工と貯蔵が容易になり、生産コストを下げることが可能ですが、化学合成の添加物には、アレルギーや健康を損なう原因になる成分が含まれているケースが多く見られます。「レホルム食品」には原則として、化学合成の添加物は使用されていません。



油脂硬化剤を使用しない。

液状の油脂を固めると、(トランス脂肪酸)を生じます。例えば、パンからマーガリンが流れ落ちないのは、この(トランス脂肪酸)が生じているためです。この(トランス脂肪酸)は、コレステロール値にも悪い影響を与えます。また、最近の学術研究によると、心筋梗塞、ガンなどを発症させる危険性が高まるということです。そのような理由で油脂硬化剤(トランス脂肪酸)を「レホルム全製品、ダイエット食品」に使用することは堅く禁止されています。

放射線照射の原料は使用できない。

ガンマ線による食品の照射は、多くの国々で行われています。これは、食品中の有害な微生物を殺菌するのが目的で、食品の腐敗の進行を遅らせます。しかし、こうした電離放射線は食品に含まれる価値ある成分、例えばビタミン、脂質、タンパク質、ミネラル、微量要素を変質させてしまいます。基本的には、人間の免疫組織を破壊する「フリーラジカル/活性酸素」の形成を促します。「レホルム食品」は放射線照射による粗原料や添加物の使用はできません。

④-3「製品の安全性」

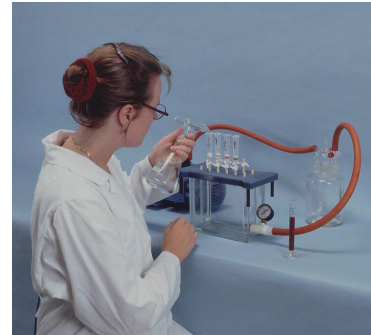
製品の安全性は「ノイホルム協会」と「レホルム製品製造者協会」にとって特に重要な課題です。「ノイホルムの基準、管理、分析試験」には最新の機器と技術を用いて実施しており、「レホルム製品」の「安全性」と「品質」は、常に消費者の信頼と高い評価を得ています。



※分析試験室「プロボリス」の含有成分を測定する特殊な「液体高速クロマトグラフィー」

「品質規準」

品質規準は、個々の製品グループに対し詳細に定義されており、最新の学術知識にもとづいています。とくに重視されるのは、「レホルム製品」の「安全性の確保」と、消費者の健康保持に貢献できる製品であることです。このため知覚的、分析的、微生物学的など多くの規格規準が設けられ、「レホルム製品製造業者」は、この規則を厳守することが義務づけられています。



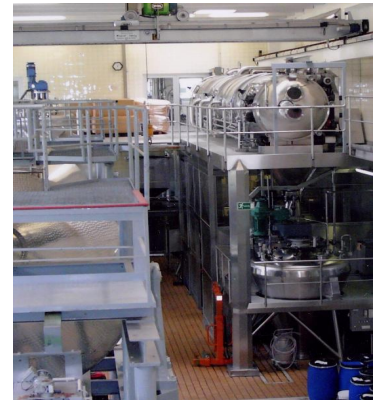
(有害物質の試験)

「有害物質試験室」厳しい残留農薬の制限

非常に綿密な製造法や有機農法による作物であっても、現時点では原料の残留農薬を完全に除去することは困難です。しかし、「レホルム製品」の残留農薬・重金属は0か、国際基準以下となっています。

「原料と加工の管理」

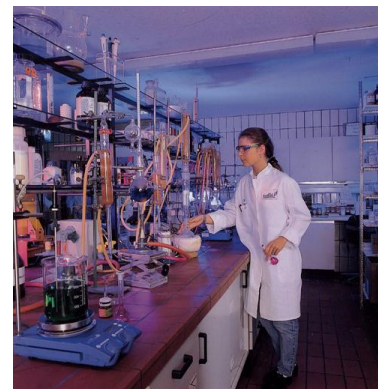
「レホルム製品」の原料は、製造者の購入時から厳正な管理が行われています。製品化に際しては、慎重な加工法により完成品の品質保持のため厳しい基準を満たす必要があります。それは粗原料が製造工程で、品質、味覚、価値が左右されるためです。そのため、多くの製造者は原料及び製品を公的試験研究所による厳密な分析試験を行っています。その結果、「レホルムの規格規準」が満たされていない場合「レホルムハウス」での販売は許されません。



(殺菌・有害物質除去装置)

「ノイホルム研究所」による厳密な品質検査。

「レホルム製品」として「レホルムハウス」で販売されている全製品全製品は、「ノイホルム契約製品」として承認が受理される以前に、「ノイホルム協会研究所」で分析試験が実施されます。試験を通じて、価値ある含有成分(栄養素や有効成分)の分析試験が行われ、健康を害する残留農薬、重金属、放射能なども試験されます。また、この研究所は、「ノイホルム」の厳格な品質規準を保持するために、店頭で販売されている製品の抜き取り検査を実施しています。



(分析試験室)

④-4「ノイホルム協会」の義務

「レホルムハウス」は、「レホルム運動」の啓蒙と「レホルム製品」の普及に約 110 年にわたり「健康生活づくり」の拠点としての役割を果たしてきました。そのため、「環境保持」と、「動物保護」は、「ノイホルム品質規準」に示された厳格なもので、具体的には次にあげる内容です。

健康な動物を原料として使用する。

食品衛生上、または倫理的な理由から、死んだ動物を原料として使用することは禁止されています。そのため、食品では肉やソーセージの加工製品に死んだ動物の原料は使用できません。また、化粧品では、生きた細胞のエキス、胎盤エキスなどの原料は使用できません。ただし、自然薬品に限り、安全性が学術的に保証されている原料は、例外的に認められます。つまり、トリイガイのエキスや肝油などは、伝統的に薬品として使われてきました。

適正な動物飼育法を用いる。

ミルク、乳製品、卵などの動物性の製品は適正な動物飼育法によるものを使用しており、この飼育法は、この分野で権威のある団体「AGÖLの規準」、及び「EU有機農業法」の規準にもとづいています。動物は十分な日光を浴び、広い牧場で飼育され、農場で栽培された牧草などで飼育されています。動物の肉骨粉、抗生物質、成長促進剤などが添加された飼料を与えることは厳重に禁止されています。

動物実験は行わない

レホルムの化粧品、ホテーカー製品の原料成分を動物実験などで試験することは禁止されています。これは製造者から依頼された試験研究所でも同様です。

環境を考えた製造法と加工法

製造と加工に用いる原料は、環境を破壊しない有機農産物を使用しています。有機農法は鉱物から合成された窒素・リン酸・カルウムや農薬(殺虫剤、除草剤など)を使用しないため、土壌中の水質や地下水の汚染を防ぎます。堆肥を施した農耕と、作物の輪作が守られているため、土壌はつねに膨軟で、雨水等に侵食されるのを防ぎます。製造者の側でも有効資源をリサイクルした加工法に努めています。



(生産管理室)

包装は必要最小限度に！

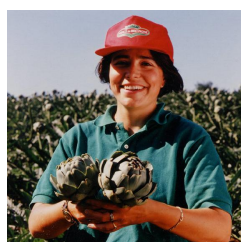
一般的に必要な最小限の包装は不可欠です。包装は製品の品質保持に役立ち、製品の衛生面と使用に際しての安全性を確保します。それにより、輸送と貯蔵が可能になります。しかし、

過剰な包装は、環境汚染の原因となるゴミを放出します。製品の安全性と生活環境の保持が「レホルム製品」の重要な課題です。「ノイホルム協会」の指針では、必要最小限度の包装で済ませることで。

⑤「品目ごとの品質基準」

最近、国際的に食品業界では数々の不祥事が発生し、食の安全がおびやかされています。そのため、私たちの食生活は年々不安の度合いが深まっています。安全で信頼できる高品質の食品を選ぶことも容易ではありません。さらに、市場に流通している多くの農作物や加工食品は、およそ自然とはかけ離れた、栄養成分が不適切なものや品質の悪いものが見られます。ドイツの消費者団体連合会(AgV)によると、消費者が購入している食品の90%が、高度に加工された食品で、残留農薬・重金属などを基準以上に含むものが多く流通しています。

⑥「健康と嗜好食品」



果実と野菜圧搾ジュース

果実と野菜ジュースの製造は圧搾ジュースのみで、濃縮シロップは使用されていません。また、表面に保存料やワックスを施した果実は許可されていません。乾燥果実も、その全ては有機栽培によるもので、主として「レホルム製造業者」の自社農園で生産された新鮮なものが使用されています。



蜂蜜/ハチミツ

様々なハチミツがありますが、可能な限り純正さを保つ目的で、水飴等の添加は一切許可されません。ハチミツは、熱で品質が損なわれないようにするために、「冷却遠心分離機」にかけ、充填温度は最高 40°C までとなっています。熱による成分の損壊を測る HMF (ヒドロキシメチルフルフラール) 値は、蜂蜜法によると 40mg/kg HMF でなければなりません。「ノイホルム」では全製品の 50% 以上が、最高値 15mg/kg HMF に抑えられています。さらに、農薬、抗生物質、殺虫剤など、薬物の残留は認められません。

お茶(ハーブ類)

お茶やハーブの原料も、**ÖKO規格**の「有機栽培」によるものです。種類も豊富に取り揃えています。果実ティーでも合成香料は使用されず、お茶やハーブの果肉片が多く含まれています。

⑦「ダイエット食品」と、「栄養補助食品」

ダイエット食品は、ドイツの食品医薬品法の「ダイエット法」に沿ったものです。しかし、「ダイエット法」以外の方法でしか効果が得られない製品は、「ノイホルム品質基準/規定」に基づく必要があります。例えば「ダイエット食品」であっても、法令で定められた「ビタミンやミネラル」を含んでいなければなりません。



⑧「自然薬品」と、体に優しい「家庭薬」

この分野の中心的な製品は「植物薬品」です。これらは薬草や天然の有効成分を含む、「ハーブ」などを原料として製造されたものです。「ノイホルム」では基本的に、化学合成による薬品は製造しません。ビタミン剤にビタミンを添加した薬品には、広く天然由来の原料が用いられます。しかし、分離抽出された有効成分と合成ビタミンを使用して標準化することが必要な場合もあります。これは法的な規定に示されているように、植物製剤の効果を一定に保つためです。「レホルムハウス」では、自信をもって提供できる多くの「家庭薬」を取り揃えています。体全体の疾病や症状に合わせ適応できます。そして、その穏やかな効果は、「自然薬品」という形で発揮されます。（医薬品・医療機器庁E委員会）の規格基準に基づく「植物薬品」105、「伝統的薬品」109a。



(分析試験室)

⑨植物由来の自然派化粧品

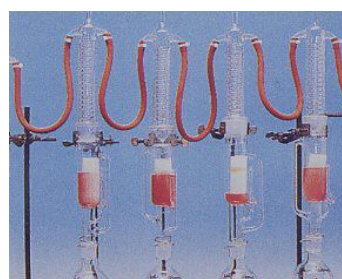
基本有効成分としては、ハーブエキス、エーテルオイル、植物油/脂肪など天然由来成分が使用されています。植物原料は、主として有機栽培によるものです。羊毛脂、卵、ハチミツ、ツノウのような生きた動物から得た特定原料は許可されていますが、ミルク油、生きた細胞、鯨油、加水分解シルクのような動物由来の原料は使用できません。自然の成分を特定のバランスで配合することが、レホルム自然派化粧品の「ノウハウ」で、特別に開発された製法は、効果を生じる秘訣です。植物、ハーブ、果物から抽出された「有用成分」は、その成分を分析し人工的に合成不可能な天然の有効成分を含んでいます。



「ノイホルム研究所」で試験された化粧品は保障つきです！

- 可能な限り自然の原料を使用
- 補助剤は必要最小限に
- パラフィンの無添加
- 遺伝子組み換え技術を用いない
- 動物実験の禁止
- 放射線照射の禁止

- 製品の高い安全性
- 最も体に適した化粧品
- 化粧品としての高い効果
- 最も効果的な使用法



分析試験室・有害物質の試験

最大限の効果-高い安全性 美容効果、抗菌性、使い易さを保障するため、「ノイホルム品質規準」内で、保存料、乳化剤、着色料、UV フィルター、香料など、限定された補助剤の使用は許可されます。しかし、常に天然由来の補助剤が優先されます。

使用期限 使用者の安全を守る意味で、「ノイホルムマーク」のごく限られた化粧品には、必要な範囲で保存料が使用されています。しかし、この保存料も天然由来のものが優先されます。

乳化剤 天然成分が基本成分の乳化剤は使用できます。:脂質、ワックス、レシチン、ラリリン、サッカリン、アミノ酸、タンパク質、リポタンパク質。

着色料・香料 着色料は植物と鉱物など天然由来の成分に限り許可されています。香料も、天然もしくは天然と同一組成物から得られたもの。メーキャップ化粧品や洗い流す製品(シャンプーやシャワージェル)は例外です。「ノイホルム」では合成着色料の使用に関し、ドイツの化粧品法よりも、さらに厳しい規定を設けています。

紫外線対策 合成 UV フィルターは、紫外線対策のための法規定により、ノイホルム製品にも使用が許可されています。

慎重に選んでください！

⑩「レホルムハウス」が正しい理由

「レホルムハウス」は、人間の健康と自然環境保持に役立ち本当の意味で「健康づくり」を目指す人々に開かれた専門店です。「レホルムハウス」は、健康づくりに関する指導や、「レホルム製品」に関する知識などについて専門教育を受けた販売員が、来客者の相談に応じています。



(レホルムハウス)

栄養摂取や、ダイエット、ホディーケア、自然療法に関する質問に、適切な指導をしています。「レホルムハウス」の相談員は、「レホルムハウスファッハアカデミー専門学校」で正規の教科を終了後、食品栄養学、生薬製剤の調剤師等の国家資格を得ています。

「レホルムハウス」の店頭で販売されている総ての「レホルム製品」は、「ノイホルム協会付属研究所」に於ける厳しい検査を受けています。これには多額な費用と時間をかけ栄養成分の分析試験や有効成分の作用原理などの他、残留物や有害物質、放射能汚染などについても検査がなされます。

「レホルムハウスファッハアカデミー専門学校」



「ノイホルム製品」に要求されるのは、「可能な限り自然に」という思想です。これには、今日の最先端の科学や知識も活かされて、可能な限り自然の状態を維持しながら製品化を実現しています。

「レホルムハウス内有機栽培農産物」



(レホルムハウス店)

「レホルム製品」は、その品質の高さからすると大変お得な製品です。大量生産された製品は確かに格安ですが、これに対して「レホルム製品」は高品質にもかかわらず、良心的な価格で提供されています。選び抜かれた原料・成分の品質価値を落とさない加工技術、綿密な生産管理と環境保護への配慮はつねに商品に反映されています。

健康で良好な体調を保つには、より自然に近く、栄養バランスの良い食事を摂ることが最善の方策です。さらに、有害物質などを含まない信頼できる高品質の製品が、専門家たちによって生産され、また消費者活動による環境への配慮は悪化する汚染を最小限に抑えています。

自然が基調の「ノイホルム規準」を満たした化粧品！

はしがき！

永年にわたり、「レホルムハウス」は高品質で、お肌に良い効果をもたらす自然派化粧品を提供してきました。これらは全て「ノイホルム」の厳しい品質規準を満たしたものです。パッケージの「ノイホルムマーク」表示は、この品質規準が遵守されていることを示します。ここで、「ノイホルム化粧品」をご愛用の消費者のご要望にお応えするため、「レホルム化粧品」の品質規準に関する情報を分かり易くまとめてご説明します。

重要なポイント！

「ノイホルム化粧品」に求められているもの！

①自然の状態を維持し ②美容効果 ③体に優しく ④使い易さ ⑤安全性
これらの条件を最大限に満たしている製品には「ノイホルムマーク」が表示されています。

1) 「ノイホルム品質」を実現するために__

①卵・牛乳・植物に由来する天然原料が優先されます。②使用する添加物には厳しい制限があり、補助添加物も極少数で、使用される場合も最小限に止められています。③死んだ動物に由来する原料の使用禁止。④パラフィンの使用禁止。⑤天然原料が優先され、採取から加工、製品化まで細心の注意が払われています。化学的な加工は極力制限されています。⑥衛生管理の行き届いた製造工程。⑦メーカー、並びに「レホルムハウス」の有資格販売員がお客様に包括的で分かり易い情報を提供。

2) 環境を守り続ける生活を優先__

①体に優しい ②環境に優しい ③社会的にも受け入れられる

これら総合的なコンセプトを守りながら、環境に負荷をかけず、時代に則した生活様式を求めていくことが、「レホルム化粧品」にとって最も重要なことです。これは以下の手段によって、経済的にも無理のない範囲で達成されています。

- ①特定の先端技術は利用しない(放射線照射、遺伝子組み換え技術)。
- ②環境に配慮した技術と再生できない資源を守ることが非常に重要です。
- ③公認の有機農法で生産し、社会に受け入れられる条件で加工・製造・販売されます。
- ④製品の価値を損なわず、消費者にとっても利用しやすく、環境に配慮した包装形態。

3) **放射線照射:** 原料と完成品に対する滅菌処理に放射線照射は導入していません。

4) **動物実験:** 「ノイホルムマーク化粧品」に関し、動物実験は一切行われていません。

5) **遺伝子技術:** 遺伝子技術の利用は「レホルムハウス」の自然への配慮からして受け入れられません。「ノイホルムマーク化粧品」について、遺伝子組み換え原料の排除は最優先課題です。

6) 特別な目的で使用する原料:

香料・保存料・乳化剤・着色料などの補助剤、紫外線吸収剤、界面活性剤は、特別な美容効果の実現、法的な条件を満たすことが義務づけられています。消費者保護、経済的な配慮、資源と環境保護等の点を考慮し、特定の物質に限り必要最小量でのみ使用できます。

7) **香料** 天然及びそれと同組成の物質、これらの混合物は使用できます。

8) **補助剤 保存料:** 開封後の製品を細菌から守り、消費者の安全を図るためには、保存

料の使用が避けられない場合があります。品質保持のため、天然物質とその同一組成物、及びそれらのミネラル塩類は許可されています。また、保存料を使わずに済むような、特別な製法と包装形態が最優先されます。

着色料: 植物や鉱物から得られる自然の着色料は使用できます。極まれに、メーキャップ化粧品や洗い流す製品(シャワージェル、シャンプー)、染髪剤には例外があります。これは製品を最良質で提供し、利用性と効果を高める目的です。

9) 紫外線フィルタ 日焼け対策製品には、UV フィルターの使用が法的に義務付けられています。UV フィルターの使用は、日光に敏感な人を守り、増大している紫外線の危険を考慮すると、「ノイホルム」の日焼け対策製品にも必要となります。

10) 乳化剤と界面活性剤 以下の天然物質を使用して作られた乳化剤や、肌と髪洗浄用の製品の界面活性剤は使用が可能です。①脂肪、油、ワックス②レシチン③ラノリン④サッカリト(モノ-、オリゴ-、ポリサッカリト)⑤アミノ酸、タンパク質、リポタンパク質

機能性の観点から、PEG を含んだ界面活性剤の使用を完全に排除することはできません。

11) 検査と管理 「ノイホルムマーク化粧品」には、「ノイホルム」による試験検査と認可が義務づけられています。メーカーも専門試験室で、つねに品質の管理を行うことが義務づけられています。品質規準を遵守していることは、各製品に表示された「ノイホルムマーク」が証明しています。「ノイホルムマーク」は、「ノイホルム協会」の厳正な品質規準を満たしていることを示します。